

基本構想の素案を案にする際に修正した箇所の一覧

No	該当箇所			修正内容		修正理由
	章	ページ	箇所	修正前	修正後	
01	表紙	—	—	(素案) 2022(令和4)年11月	(案) 2023(令和5)年2月	時点更新
02	目次	—	—	—	巻末に「資料」を追加	時点更新
03	はじめに			—	「はじめに」の内容を削除	基本構想決定の際に「はじめに」の内容を挿入
04	1章	P2	本文		A棟を増築しB棟と一体化した経緯を追記	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
05	1章	P4	本文	<以降の経過については今後追記予定。>	「多摩市役所庁舎建替についての市民アンケート」や基本構想案策定までの2度にわたる計4回の「多摩市本庁舎建替についての市民フォーラム」の実施、基本構想(素案)のパブリックコメントやたま広報、市公式HPを始め、全戸に本庁舎建替に関する情報誌の配布、市長YouTubeなどの情報発信を行い、市民の皆様へのお知らせとご意見の把握に努めながら検討を進め、基本構想を取りまとめました。	時点更新
06	1章	P4	表 2021(令和3)年度の主な検討経過	●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定方針 決定 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定委員会 設置 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定有識者懇談会 設置 ●多摩市役所本庁舎建替についての市民アンケート 実施	●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定方針 決定 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定委員会 設置 2回開催 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定有識者懇談会 設置 2回開催 ●多摩市役所本庁舎建替についての市民アンケート 実施	時点更新
07	1章	P4	表 2022(令和4)年度の主な検討経過	●多摩市役所本庁舎建替についての市民フォーラム 開催 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想のパブリックコメント 実施(予定)	●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定委員会 7回開催 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想策定有識者懇談会 4回開催 ●多摩市役所本庁舎建替についての市民フォーラム 開催 計4回開催 ●多摩市政情報誌vol.13の市内全世帯、全事業者への配布 ※多摩市役所本庁舎建替についての特集号 ●多摩市役所本庁舎建替基本構想のパブリックコメント 実施	時点更新
08	1章	P4	写真	—	第2回市民フォーラムの写真を追加	時点更新
09	3章	P9	本文	「デジタル社会の実現に向けた重点計画」策定(令和3年12月21日閣議決定)	「デジタル社会の実現に向けた重点計画」策定(令和3年12月24日閣議決定)	パブコメ意見の反映(誤記の修正)
10	3章	P9	コラム(懇談会)	—	プロフィットとノンプロフィット、フリーランス、複線型キャリア、ランチに説明を追加	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
11	3章	P11	本文	—	アンケート結果の1年間の来庁回数について、来庁0回の方が4割以上いることを追記	パブコメ意見の反映(誤記の修正)
12	3章	P11	※1	参考資料P●●<今後掲載予定>参照	P55~60参照	時点更新
13	3章	P11	※2	参考資料P●●<今後掲載予定>参照	P61~65参照	時点更新
14	3章	P12	グラフの位置	—	本文とグラフの位置関係がわかりにくいため、レイアウトを変更	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
15	3章	P14	本文	本庁舎建替えがそれらを先導し、二酸化炭素排出実質ゼロの実現に大きく貢献できるものとなるよう、現在の本庁舎における二酸化炭素排出量の大幅な削減を目指し、環境に最大限に配慮した検討を行う必要があります。	本庁舎建替えは、それらを先導し、二酸化炭素排出実質ゼロの実現に大きく貢献できるものとなるよう、環境に最大限に配慮した検討を行う必要があります。	正確でわかりやすい表現への見直し。
16	3章	P16	コラム(市民フォーラム)	—	【第2回市民フォーラムの意見を追加】 ●オンライン化は望ましいが、本庁舎機能の弱体化・空洞化は望ましくない。	時点更新
17	3章	P16	コラム(懇談会)	—	デジタルでバイト、フロントに説明を追加	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
18	4章	P20	コラム(懇談会)	—	アウトリーチ、コワーキングスペースに説明を追加	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
19	4章	P23	めざす本庁舎像	市民の暮らしを支え 多摩市の安全を守り 拠点となる 持続可能な本庁舎 災害時に市民を守る本庁舎 災害時には、災害対応の指令拠点としての機能を確実に発揮し、多摩市の安全を守ります。	市民の暮らしを支え 多摩市の安全を守る 拠点としての 持続可能な本庁舎 災害時に市民とまちを守る本庁舎 災害時には、災害対応の指令拠点としての機能を確実に発揮し、市民とまちの安全を守ります。	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
20	4章	P23	めざす本庁舎像	~50年以上にわたり使い続けることができる、~	~50年以上の長期にわたり使い続けることができる、~	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
21	4章	P24	図(基本理念・基本方針・基本機能の関係)	市民の暮らしを支え 多摩市の安全を守り 拠点となる 持続可能な本庁舎 災害時に市民を守る本庁舎	市民の暮らしを支え 多摩市の安全を守る 拠点としての 持続可能な本庁舎 災害時に市民とまちを守る本庁舎	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
22	6章	P26	「②防災指令拠点機能」 「(整備に向けた考え方)」	●発災直後から応急対策期にかけて、職員が業務や災害対応を継続できるよう、飲料水、食料、資機材等の備蓄スペースを確保するとともに、飲料水及びトイレ配水機能など、ライフライン機能を整備します。	●発災直後から応急対策期にかけて、職員が業務や災害対応を継続できるよう、飲料水、食料、資機材等の備蓄スペースを確保するとともに、飲料水及びトイレ排水機能など、ライフライン機能を整備します。	「トイレ配水」を「トイレ排水」に訂正
23	6章	P28	コラム(市民フォーラム)	—	ロジスティックスに説明を追加	パブコメ意見の反映(正確でわかりやすい表記への見直し)
24	6章	P28	コラム(市民フォーラム)	—	【第2回市民フォーラムの意見を追加】 ●職員食堂はあったほうがよい。 ●議会機能は、もっと市民に近いところにあったほうがよい。	時点更新
25	6章	P31	○ユニバーサルデザイン ◇利用しやすい環境整備	・多機能トイレやオストメイト対応設備の配置の他、ジェンダーフリー型トイレの整備も含めて検討します。	・高齢者、障がい者、親子連れ(育児中)などに対応したバリアフリー型トイレの整備も含めて検討します。	「多機能トイレ」などの用語をわかりやすい表現に変更
26	7章	P33	総務省の旧地方債同意等基準に基づく面積算定	—	基準通りの換算率で試算した結果を追加	正確でわかりやすい表記への見直し
27	7章	P34	表(面積算定)	【F市の開庁時期】 未定(実施設計完了)	【F市の開庁時期】 未定	時点更新

No	該当箇所			修正内容		修正理由
	章	ページ	箇所	修正前	修正後	
28	7章	P35	本文	—	冒頭に建設規模についての結論を囲みで追加。	読みやすい文章構成への見直し
29	7章	P35	本文	上記他自治体の事例からは20,000㎡程度の規模が想定されます。今後、デジタル化・DXの推進、出張所等との連携、テレワークなど新しい働き方の導入、打合せスペース等の多目的利用化、文書量の削減等により全体面積を抑制できることが考えられます。公共施設の総量抑制の方針も踏まえ、現在約13,000㎡の本庁舎の延床面積を建替え後は約18,000㎡と試算します。	総務省の旧地方債同意等基準や自治体の事例からは20,000㎡程度の規模が想定されます。今後、デジタル化・DXの推進、出張所等との連携、テレワークなど新しい働き方の導入、打合せスペース等の多目的利用化、文書量の削減等により全体面積を抑制できることが考えられます。公共施設の総量抑制の方針も踏まえ、現在約13,000㎡の本庁舎の延床面積を建替え後は、総務省の旧地方債同意等基準で換算率を修正した約18,000㎡と試算します。	総務省の旧地方債同意等基準も活用して規模を想定したこと、同基準の換算率を修正して約18,000㎡と試算したことがわかるように、正確でわかりやすい表記への見直し
30	7章	P35	本文	—	DXによりスペースが生まれたときにも柔軟に利用できるつくりとすることを明記するため、「～デジタル化・DXの推進や行政ニーズの変化に柔軟に対応できる可変性のあるつくり～」に変更。また「併せて、築年数が浅い既存施設の活用などについても検討を行います。」を追加。	パブコメ意見の反映（提案内容を追記）
31	7章	P35	—	—	【新たに有識者懇談会のコラムを作成し、第5回有識者懇談会意見を追加】 DXが進む中で、規模をどう算定するか？ ●DXが進むと、職員数は庁舎面積に直結しなくなる可能性がある。信ぴょう性のある数字を提示するのが難しい時期にある。 ●予算枠の中でいかにクオリティの高い庁舎がつかれるかが問われるが、クオリティを下げて予算に合わせるのではなく、庁舎面積を減らすことでクオリティをあげることもできる時代になっていくと思うので、柔軟に捉えていくとよい。 ●建物の階数によって必要面積も変わる。高層の建物よりも床面積の広い低層の建物の方が、共用部分の集約により必要面積を減らすことができる。	時点更新
32	7章	P35	—	—	【新たに市民フォーラムのコラムを作成し、第2回市民フォーラム意見を追加】 ●現本庁舎の規模よりも広くする必要があるのか疑問。 ●DX等が進めば規模は圧縮できるのではないかな。 ●将来を考えると人口や職員数も減るのではないかな。 ●現状では建物が分散しているが、これを1つの建物にまとめると合理的な使い方ができるのではないかな。	時点更新
33	8章	P39	—	【項目名】 8.2 想定する建設位置	【項目名】 8.2 建設位置	時点更新
34	8章	P39	本文	—	冒頭に建設位置についての結論を囲みで追加。	読みやすい文章構成への見直し
35	8章	P39	本文	本庁舎の建設位置については、市民アンケートや市民フォーラムを通じて、多くの市民意見が寄せられました。「行きやすい場所がよい」、「駅から近い場所がよい」といったご意見があった一方で、「オンライン化や駅近機能の充実により、位置は重要ではなくなる」といったご意見もありました。また、「防災に適した場所がよい」、「新たな土地を取得せずに済む場所がよい」などのご意見もいただきました。	本庁舎の建設位置については、市民アンケート、市民フォーラム、パブリックコメント等を通じて、多くの市民意見が寄せられました。「駅から近い場所がよい」、「徒歩でアクセスしやすい場所がよい」といったご意見があった一方で、「オンライン化や駅近機能の充実により、位置は重要ではなくなる」といったご意見もありました。また、「防災に適した場所がよい」、「周辺の活性化につながる場所がよい」、「新たな土地を取得せずに済む場所がよい」などのご意見もいただきました。また市議会においても、建設位置についての議論が行われました。	パブコメ意見や議会での議論など、建設位置についての最終決定の経緯と決定内容を反映。今後の検討課題を追記。
36	8章	P39	本文	「～検討した結果、市として「本庁舎の建替位置は、市有地である現本庁舎のある場所（以下「現在地」とする）が望ましい」との結論に至りました。」	「～検討した結果、「本庁舎の建替位置は、市有地である現本庁舎のある場所（以下「現在地」とする）とする」との結論に至りました。」	
37	8章	P40	本文	「本庁舎の建設位置の決定については、本基本構想の素案のパブリックコメントの結果などを踏まえ、決定していきます。その後に基本計画の策定を進めていきます。」	左記を削除。	
38	8章	P40	本文	—	現在地のアクセス改善を検討することについて追記。 「なお「現在地」については、今後高齢化がさらに進む中で、駅からの距離や起伏を懸念する市民意見をいただきました。そのような課題については認識しており、検討していきます。」	
39	8章	P40	本文	土地購入者	土地所有者	誤記の修正
40	9章	P41	表（主な事業手法の概要と特徴）の「従来方式」の「メリット」	①従来から多く採用されている事例のため、公共としてのノウハウがある。	①従来から採用されている事例のため、公共としてのノウハウがある。	正確でわかりやすい表現への見直し。
41	9章	P42	図（発注方式ごとの想定建替えスケジュール）	—	【スケジュールの誤記の修正、図の形式の見直し】 DB方式やPFI方式のAD業務期間の誤記を修正するとともに、各工程の期間を精査しより正確なものに見直し。また図の形を、2023（R5）年度の基本計画からスタートし、各年度の目盛りを均等にする形式に見直し。	正確でわかりやすい表現への見直し。
42	9章	P42	本文の注	アドバイザー業務のことで、DBやPFI導入時における、要求水準書、審査基準、契約条件、契約書案の作成や審査委員会の支援など、事業者選定に係る実務。	アドバイザー業務のことで、DBやPFI導入時における、要求水準書、審査基準、契約条件、契約書案の作成や審査委員会の支援など、事業者選定に係る実務を支援する業務。	正確でわかりやすい表現への見直し。
43	10章	P44	本文	—	冒頭に概算事業費についての結論を囲みで追加。	読みやすい文章構成への見直し
44	10章	P45	—	—	【新たに有識者のコラムを作成し、第5回有識者会議の意見を追加】 ビジョンを大切に、事業計画を柔軟に進める ●ビジョンを掲げること、それを市民にも浸透させることが重要。今後、社会状況等により計画どおりに進められないことがあったとしても、目指すゴールに向かっていくことを大事に進めていけば、ゴールにたどり着けると思う。	時点更新

No	該当箇所			修正内容		修正理由
	章	ページ	箇所	修正前	修正後	
45	10章	P45	—	—	<p>【新たに有識者のコラムを作成し、第5回有識者会議の意見を追加】</p> <p>7年後に向けて職員も今からスタートを！</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7年後には職員の働き方も変わる。仕事の内容ややり方がどう変わるのか、職員は自分の働き方をどう変えたいのか、ワークショップ等で具体的に話し合ってほしい。職種別の議論が必要。よりフレキシブルな仕事のやり方をみんなで考えていくとよい。 ●例えば、5年保存の文書ならば、再来年度の文書は新しい庁舎に保存するということになる。今からデジタル化に取り組み、新しい庁舎へ持っていくものを削減していく必要がある。オンライン申請についても、市民が慣れるための期間も必要なので、今から着手し、3拠点のあり方も見据えた取組を計画書に盛り込むべき。 	時点更新
46	10章	P45	—	—	<p>【新たに市民フォーラムのコラムを作成し、第2回市民フォーラム意見を追加】</p> <p>事業の進め方は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費を抑えるべきである。 ●PFIには慎重になるべきである。 ●建替えは時間をかけずに進めるべきである。 ●今後の計画について責任者は若い人に任せるべきである。 	時点更新